

新点数説明会



会場の様子

4月10日(金)、佐賀市アバンセにて歯科新点数説明会をWEB配信を併用して開催しました。会場にて28医療機関から40人、WEBにて95医療機関から185人の参加がありました。講師は当協会の新井良一副会長、進武彦・千葉研介各常任理事が務めました。以下、参加者からの報告です。

4月10日(金) 新点数 騰に対応しており、歯科説明会が行われ、私はオンラインで参加しました。今回の改定率は本体が+3.09%となりましたが、9割以上が賃上げ物価高騰

騰に対応しており、歯科の診療に関しては+0.31%とされ、依然として厳しい改定となりました。主な改定内容としては、基本診療料では物価高騰

4月10日(金)、佐賀市アバンセにて歯科新点数説明会をWEB配信を併用して開催しました。会場にて28医療機関から40人、WEBにて95医療機関から185人の参加がありました。講師は当協会の新井良一副会長、進武彦・千葉研介各常任理事が務めました。以下、参加者からの報告です。

等々の現状を踏まえ、初再診料が引き上げられ新たに歯科外来物価対応料が新設されています。医学管理では歯管が減点されましたが、有床義歯の場合でも算定可となりました。義管・歯リハIに関しては義管が1装置単位で、歯リハは従来どおりI口腔単位での算定となり、義管と歯リハIは同日でも併算定できるようになりました。口腔機能管理では、小機能、口機能が再編整理され、小機能2、口機能2が新設されたことで、患者の状態や医療機関の設備に対して柔軟に対応できるようになりました。また歯科衛生士が口腔機能管理指導を行なった場合に算定できる口腔機能実地指導料が新設されています。施設基準の届出が必要で、指導する歯科衛生士実地指導に係る研修を受ける事となっています。

2026 歯科・新点数説明会 初再診療引き上げ、保険適用は微増 したが改善すべき課題は山積み

等々の現状を踏まえ、初再診料が引き上げられ新たに歯科外来物価対応料が新設されています。医学管理では歯管が減点されましたが、有床義歯の場合でも算定可となりました。義管・歯リハIに関しては義管が1装置単位で、歯リハは従来どおりI口腔単位での算定となり、義管と歯リハIは同日でも併算定できるようになりました。口腔機能管理では、小機能、口機能が再編整理され、小機能2、口機能2が新設されたことで、患者の状態や医療機関の設備に対して柔軟に対応できるようになりました。また歯科衛生士が口腔機能管理指導を行なった場合に算定できる口腔機能実地指導料が新設されています。施設基準の届出が必要で、指導する歯科衛生士実地指導に係る研修を受ける事となっています。

歯周病治療に関しては、歯周病継続支援治療(SPT)として整理・統合され、算定要件の複雑さが一定解消されましたが、根管強の届出の有無によ



発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(大樹生命佐賀駅前ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
E-mail hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料 1部 200円 年間2,400円
送料込 送料は年会費に含まれています

5月20日(水)に開催した、歯科第2次新点数説明会の質疑応答の際に回答できなかったご質問の回答を、当会のホームページにアップしております。左側の二次元コードよりご確認ください。(事務局)

協会会員数

医科	635人
歯科	320人
合計	955人

(4月30日現在)

第45回 定期総会のご案内

市民公開講演会
入場 無料

会場 ホテルマリタール創世佐賀 4F
佐賀市神野東2-5-15
TEL 0952-33-5511

日時 8月29日(土)



演題 続く物価高の中、今後の経済、財政、社会保障制度を見通す

講師 大串 博志氏
(前衆議院議員)

総会	15:00~15:50
市民公開講演会	16:00~17:30
懇親会	17:40~

参加費…無料
(配偶者の方も一緒にご参加いただけます)

お問い合わせ・お申し込み先
佐賀県保険医協会事務局
TEL 0952-29-1933 FAX 0952-23-5218

講演会の詳細は同封のチラシにてご確認ください。WEB配信はありません。

主な記事

- ・2026 憲法大集会……………2面
- ・わたしの主張「生活習慣病管理料」……………2面
- ・第17回九州厚生局との懇談(質疑応答)……………3面
- ・2026年度の指導等に関する資料(佐賀県)……………4面
- ・経営税務「賃上げ促進税制の改正の内容について」……………5面

「認知症4割は予防できる」という結果が東大の野田一朗教授とデンマークのペンハゲンセンターの共同研究で明らかになった。認知症の原因として高血圧、運動不足、難聴など14項目を特定し、各項目を改善することで認知症のリスクを低減できるという。和佐野氏は「日本において難聴や運動不足、その他生活習慣病など、どの危険因子への対策を優先すべきかを定量的に示すことができれば、今後の診療に生かしたい」と話している。また最近では補聴器の一部購入補助が出ているため、該当者にはぜひお勧めしたい。 (ペンネーム 清少)